

ACROS

11
November



©PALYI ZSOFIA

特集 ハンガリー国立歌劇場
「ランメルモールのルチア」

伝えたい文化の魅力 #20

「石川賢治」

九響プレトーク #32

「徳山奈美×猿渡友美恵」

探検!アクロス福岡 #20

「福岡シンフォニーホールのステンドグラス」



©Daisuke Akita



©DOBOS TAMAS



情報誌「ACROS」11月号 2017年10月1日発行(毎月1回1日発行) 【編集発行】公益財団法人アクロス福岡 〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号 ☎092-725-9115

チケット発売情報

最新のチケット発売情報は
こちらのQRコードからCheck!!



アクロス福岡チケットセンター(10:00~18:00)
☎092-725-9112

好評発売中

11/ 5 日 14:30 | 第22回 日本フルートフェスティバル in 福岡

会 福岡シンフォニーホール 料 全席自由:¥1,000
●第1部/ジュニア・オープニングステージ 第2部/石川賢一朗・宮城薫による特別デュエットステージ 第3部/250名の大フルートオーケストラ

11/15 日 18:30 | ハンガリー国立歌劇場「ランメルモールのルチア」

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
料 GS:¥16,000 S:¥13,000 A:¥11,000 B:¥9,000 C:¥7,000(学生券:¥3,500)
●ソプラノ/アンドレア・ロスト 他
●演出/ドニゼッティ:歌劇「ランメルモールのルチア」

11/22 日 19:00 | ミラノ大聖堂聖歌隊&真言宗声明

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥4,000 A:¥3,000 (学生各席¥1,000引き)
●出演/真言宗青教連法親会 ミラノ大聖堂聖歌隊
●演出/唄 散華 感謝の賛歌「テ・デウム」 他

11/27 日 19:00 | フィリップ・ジョルダン指揮 ウィーン交響楽団

会 福岡シンフォニーホール 料 GS:¥20,000 S:¥17,000 A:¥14,000 B:¥10,000 C:¥6,000(学生券:¥3,000)
●ヴァイオリン/櫻本大進
●曲目/メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲
マーラー:交響曲 第1番「巨人」

11/30 日 12:00 | アクロス・ランチタイムコンサートvol.61「スペシャル版」
若林顕&鈴木理恵子デュオコンサート

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●ピアノ/若林顕 ヴァイオリン/鈴木理恵子
●曲目/クライスラー:愛の悲しみ
フランク:ヴァイオリン・ソナタ 他

12/ 6 日 12:00 | アクロス・ランチタイムコンサートvol.62
フランツ・バルトロメイ リサイタル with 篠崎史紀

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●チェロ/フランツ・バルトロメイ ヴァイオリン/篠崎史紀 ピアノ/田中美江
●曲目/マレ/バルトロメイ:スペインのフォリア
シューベルト:ピアノ三重奏曲

12/12 日 19:00 | 古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオーゾ'2017

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥7,000 A:¥6,000 B:¥5,000(学生席:¥3,000)
●曲目/マリーンのコンチェルト、クリスマスソング 他

12/19 日 12:00 | アクロス・ランチタイムコンサートvol.63
アクロス・クリスマスコンサート2017

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●サクソフォーン/オリタ・ノボッタ スペシャルゲスト/ジェームス小野田 他
●曲目/クリスマス・メドレー 他

12/24 日 14:00 | 九州交響楽団 名曲・午後のオーケストラ
第11回 歓喜の歌が心に響く!

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000(学生:¥1,500)
●指揮/小泉和裕 ソプラノ/鷲尾麻衣 九響合唱団 他
●曲目/ベートーヴェン:交響曲 第9番「合唱付き」

2018年 1/ 4 日 19:00 | ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団
ニューイヤーコンサート2018

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥8,500 A:¥7,500 B:¥6,000 C:¥5,000
●指揮/ヴァイオリン/ヨハネス・ヴィルトナー
●曲目/J.シュトラウス2世:喜歌劇「こもり」序曲、トリッチ・トラッチ・ポルカ 他

2018年 1/18 日 12:00 | アクロス・ランチタイムコンサートvol.64「スペシャル版」
古典芸能へのお誘い ~古典芸能はおもしろい?!~

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●能楽/シテ方 坂口貴信 日本舞踊/立方 花柳達真 他
●演出/能と日本舞踊による「船弁慶」 他

2018年 1/24 日 18:00 | シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥10,000 A:¥8,000 B:¥6,000
●演奏/キエフ国立フィルハーモニー交響楽団
●曲目/チャイコフスキー:白鳥の湖
ビゼー:「カルメン」組曲より 他

2018年 2/22 日 19:00 | 読売日本交響楽団名曲シリーズ福岡公演

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,100 A:¥5,100 B:¥4,000(学生:¥2,000)
●指揮/ユリ・テミルカーノフ ヴァイオリン/レティシア・モレノ
●曲目/プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲 第2番
ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界から」 他

2018年 3/ 1 日 19:00 | 東芝グランドコンサート2018
サカリ・オラモ指揮 BBC交響楽団

会 福岡シンフォニーホール 料 GS:¥15,000 S:¥13,000 A:¥11,000 B:¥8,000 てれび席:¥5,000
●ヴァイオリン/アリーナ・ポゴストキナ
●曲目/チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲
ブラームス:交響曲 第1番 他

11月1日(水)発売

2018年 1/ 7 日 15:00 | 九州交響楽団ニューイヤーコンサート2018

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥5,200 A:¥4,200 B:¥3,100 C:¥1,500
●指揮/現田茂夫 ソプラノ/吉原圭子 他
●曲目/J.シュトラウス:美しく青きドナウ 他

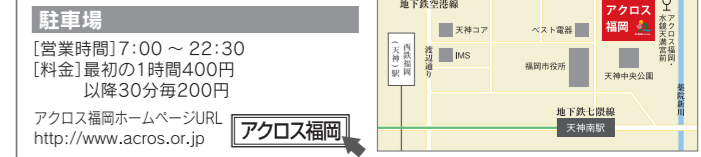
11月21日(火)発売

2018年 2/24 日 14:00 | 九州交響楽団 名曲・午後のオーケストラ
第12回 ロマンティック・メロディー 東欧からの贈りもの

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000(学生:¥1,500)
●指揮/小泉和裕 ピアノ/清水和音
●曲目/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 他

交通アクセス

[地下鉄]天神駅から徒歩3分(16番出口)、天神南駅から徒歩3分(5番出口)
[西鉄電車]福岡(天神)駅から徒歩10分
[西鉄バス]アクロス福岡・水鏡天満宮前
バス停すぐそば



駐車場

[営業時間]7:00~22:30
[料金]最初の1時間400円
以降30分毎200円

アクロス福岡ホームページURL
http://www.acros.or.jp

ファッションからグルメまで31の専門店

アクロス 商店街

(アクロス福岡地下2階から地上3階)

地下1階フロアご紹介



福岡シモズギャラリー
インテリア・雑貨



FLOS
婦人服



OCTIC
婦人服



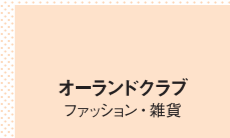
ヤマハミュージック
リテイリング福岡店
鍵盤楽器・管弦打楽器・楽譜・
防音室



Gaba マンズマン英会話
福岡天神ラーニングスタジオ



ココロレ福岡店
大きめサイズファッション・小物



オーランドクラブ
ファッション・雑貨

アクロス商店街



ハンガリー国立歌劇場

ドニゼッティ

『ランメルモールのルチア』

HUNGARIAN STATE OPERA

DONIZETTI LUCIA DI LAMMERMOOR

©PALYI ZSOFIA

役柄と声で選ぶと、おのずと正解は

「ルチア」になる。

「オペラは敷居が高いよね」「オペラは難しく、何を聴いたら良いかわからない」という方がいまだに多い。たぶん、オペラを難しく感じさせているのは、専門家の意見が別れているせいだと僕は個人的に感じている。音楽が専門の方、演出を研究されている方、それぞれの見方が違うし、それがバロック時代から現代にまでわたっているのだから、確かに複雑。でも、それをあえて単純化して、「オペラはどんな題材をどんな歌手が歌うか」を基準にして考えれば、さほど難しいものではなくなると思う。

オペラは、モーツァルトなど古典派の時代からはかなり音楽法が変わり、超絶技巧を持ったヒロイン（女性歌手）が主役となるケースが多かった。この「ルチア」もその代表的な例。イタリアから見れば遠い異国のスコットランドを舞台に選り、政略結婚で引き裂かれる恋人たちを描く。その結果として、主人公ルチアは「狂乱」してしまうのだが、その場面は「狂乱の場」として、このオペラの最大の聴かせどころとなっている。

当然のことながら、その長い「狂乱の場」を歌えるだけの声、テクニクを持った女性歌手が必要だが、残念ながら世の中にはそうそういない。そしてルチアを歌える声の質も限られる。その数少ないひとり、現在ではロストなのである。そう考えれば、このオペラを聴くのは「ラスト」だということが分かるだろう。

ハンガリー国立歌劇場は1884年に開場した歴史ある歌劇場で、あのマラーも音楽監督を務めたことがある。その伝統の上に花咲く可憐なヒロイン、ロスト。オペラ体験は初めてという方にもオススメできるプロダクションだし、生で聴く声の素晴らしさを知る上で、この

公演情報

日時	11月15日[水] 18:30開演 全3幕/原語上演・日本語字幕付(公演予定時間3時間 休憩2回含む)
会場	福岡シンフォニーホール
料金	GS席16,000円 S席13,000円 A席11,000円 B席9,000円 C席7,000円(学生券3,500円)
演出	マーテ・サボー
出演	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」 指揮/バラジュ・コチャール ルチア/アンドレア・ロスト 管弦楽/ハンガリー国立歌劇場管弦楽団 合唱/ハンガリー国立歌劇場合唱団 ※出演者は都合により変更になる場合がございます。

PROFILE
片桐 卓也(かたぎり たくや)
1956年福岡県生まれ。音楽ジャーナリストとして、音楽の友、モーストリー、ラング、誌などに執筆を続けるほか、NHK-FM、J-WAVEなどラジオでもクラシック情報を発信している。

出演者インタビュー

ロストさんにとってルチアはどのような女性ですか？

私にとってルチアは、家族に与えられた人生から逃れることのできない真の犠牲者です。

多くのファンが注目する「狂乱の場」ですが、歌手として、そして演者としてどのように向き合っていますか？

また、そのほかのシーンで、ご自身が大切にしているシーンや曲はありますか？

「狂乱の場」は本当にこのオペラの中で最も難しいシーンの一つです。数年間この役を歌っていませんでしたが、私のレパートリーから少し離れている曲はエンリーコとのデュエットで、本当に大好きです。

「ランメルモールのルチア」は、現代、人気の高いオペラのひとつですが、ドニゼッティが作曲した当時でも大成功をおさめた人気の作品でした。いつの時代も人々の心を掴むこの作品の魅力は何だとお考えですか？

曲が本当にメロディアスで、鑑賞には素晴らしい作品です！そして、そのコラトゥーラが常に観客にとって魅力的であるということだと思います。

これまで、5大歌劇場を制覇されていますが、特に印象に残っている歌劇場はありますか？
また、今後、積極的に取り組みたい作品はありますか？

ミラノ・スカラ座が、私にとって数ある歌劇場の中の歌劇場です。オペラの殿堂です。歌いたいと思っている作品は、「トゥーランドット」と「サロメ」です。

公演前に必ずやっていることやゲン担ぎはありますか？

特別なことはやっていませんが、十分な睡眠をとり、ヨガをたくさん行い、いつもランチに軽いものを食べます。公演のときは休憩中にバナナを食べたりもします。

公演を楽しみにしているお客さまにメッセージをお願いします。

日本の皆さまの限りなくあふれる愛とサポートに心から感謝しています。現在(2017年7月)、霧島国際音楽祭でマスタークラスを開催しており、多くの方々に興味を持っていただきました。本当にありがとうございます！これからも、皆さまのためにより多くの、そしてより新しい役を演じることを楽しみにしています。

ルチア：アンドレア・ロスト

Andrea Rost

ハンガリー・ブタペスト生まれ。1989年にグノー《ロメオとジュリエット》でハンガリー国立歌劇場にオペラデビュー。1991年からウィーン国立歌劇場で《ドンジョヴァンニ》、《フィガロの結婚》などに出演し、次々と成功を収め、耳の肥えたウィーンオペラファンに鮮烈な印象を与えた。その後、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、など名だたる歌劇場でデビューを飾る。



©DOBOS TAMAS

アイコンの説明: 🏠 会場 🕒 時間 💰 料金 👤 出演・講師 ! テーマ・内容 🎵 曲目・演目

11/27日 **フィリップ・ジョルダン指揮 ウィーン交響楽団**



インターナショナル・オペラ・アワード2017 ベストコンダクター受賞!
フィリップ・ジョルダンによる新時代のウィーン交響楽団

ウィーン・フィルとともにウィーン楽友協会(ムジークフェライン)を拠点のひとつとする名門・ウィーン交響楽団が、7年ぶりに福岡公演を実施いたします。古くはカラヤン、サヴァリッシュ、近年ではプレートル、フェドセエフ、ルイジと、そうそうたるスター指揮者が首席を務めてまいりました。そして現在、この楽団を率いるのはスイスの貴公子フィリップ・ジョルダン。パリ国立オペラの首席指揮者も兼任するなど、これからの世代をけん引する筆頭の指揮者です。



福岡公演の注目曲はベルリン・フィル第1コンサートマスター榎本大進との「メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調」。世代を代表する二人の秀英による協演に、期待せずにはられません。

- 🏠 福岡シンフォニーホール 🕒 19:00開演
- 💰 GS席20,000円 S席17,000円 A席14,000円 B席10,000円 C席6,000円(学生3,000円)
- 👤 指揮/フィリップ・ジョルダン
- 🎵 ヴァイオリン/榎本大進
- 🎵 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
- 🎵 マラー:交響曲 第1番 二長調「巨人」

11/30日 **アクロス・ランチタイムコンサート vol.61《スペシャル版》**
若林顕 & 鈴木理恵子 デュオコンサート



日本を代表するヴィルトゥオーゾがシンフォニーホール登場!!

ランチタイムにランチ価格にて、福岡シンフォニーホールで音楽をお楽しみいただいている「ランチタイムコンサート」。

今回は、常人離れた技巧とオーケストラに匹敵する表現力で、ピアノの音色に色彩感、立体感、そして遠近感まで与えるピアニスト若林顕と、豊かな経験に裏付けられた音楽性と表現力で、ソロから室内楽まで幅広く活躍するヴァイオリニスト鈴木理恵子がデュオで登場します!!

日本を代表する二人のヴィルトゥオーゾが奏でる、珠玉の名曲を90分の拡大版でお楽しみください。

- 🏠 福岡シンフォニーホール 🕒 12:00開演 💰 全席指定1,000円
- 👤 ピアノ/若林顕 ヴァイオリン/鈴木理恵子
- 🎵 ショパン:幻想即興曲 嬰ハ短調 op.66 モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 K.305
- 🎵 クライスラー:愛の悲しみ フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ほか



入場無料

11/19日 **アクロス福岡 ミュージアムコンサート in 九州歴史資料館**

- 🏠 九州歴史資料館 お問い合わせ ☎0942-75-9575
- 🕒 ①13:30 ~ 14:00 ②15:00 ~ 15:30
- 👤 オーボエ/石田栄理子、山田幸枝、オーボエ・ダモレ/岡本眞
- 🎵 イングリッシュ・ホルン/大城裕美、ピアノ/林紋子
- 🎵 瀧廉太郎:荒城の月、ヘンデル:水上の音楽 より

館外イベント

アートと音楽を同時に楽しむミュージアムでのオリジナルコンサート

今月の おすすめイベント

Music & Culture Must-see events

11/22日 **ミラノ大聖堂聖歌隊 & 真言宗声明**



グレゴリオ聖歌と声明
男声による東西の魂の音楽が共鳴する

2014年冬に初の試みにして大盛況の中幕を閉じた「グレゴリオ聖歌&真言宗声明」。

悠久の時間の流れに身を浸すような心地よい時間を過ごせたと、再演を熱望される声を多数いただいた公演の、第2章が幕を開けます。第1部では、わが国の祈り「声明」を、そして第2部では、イタリアで約千年の歴史をもつ伝統の「グレゴリオ聖歌」の響き、そして最後は、両者によるコラボステージをお楽しみいただきます。

- 🏠 福岡シンフォニーホール 🕒 19:00開演
- 💰 S席4,000円 A席3,000円 ※学生各席1,000円引き
- 👤 ミラノ大聖堂聖歌隊、真言宗青教連法親会
- 🎵 [真言宗声明] 唄、散華、唱礼、称名礼 ほか
- 🎵 [ミラノ大聖堂聖歌隊] 感謝の賛歌「テ・デウム」 ほか

真言宗青教連法親会 堤大恵さんよりメッセージ

声明とは、グレゴリオ聖歌と同様に、伝承された無伴奏の音楽で、経文に旋律をつけて唱える仏教の「聖歌」です。「宗教音楽」というと難しそうなイメージですが、人々に安らぎや喜びを与え、祈りと感謝をささげられる音楽だと思えます。一方グレゴリオ聖歌は、無伴奏ユニゾンとても美しい旋律で、波うちながら、無限に流れていくような、まさに天使の音楽。上から舞い降りてくるようなグレゴリオ聖歌と、おなかから首元に迫るような声明の重厚感。そして、自分の心に向かって共振させていく、魂の音楽を体感してください。きっと初めての感覚を味わうこと、間違いなしです。「日本の音楽の原点」といわれる声明の深い芸術性と日本の伝統文化を、祈りと感謝の気持ちを込めて、伝承したいと思えます。

提携館公演日程

11月23日(木・祝) 14:00開演
岡垣サンリーアイ
ハミングホール
TEL093-282-1515

11月25日(土) 14:00開演
ユメニティのおがた 大ホール
TEL0949-25-1007



ミラノ大聖堂聖歌隊指揮者 リヴァさんよりメッセージ

2014年に続いて「真言宗声明」と2回目の共演ですが、初めて共演のオファーを受けた時には、正直言って驚きと不安を感じていました。既に、同じキリスト教のプロテスタント派との共演経験はありましたが、他の宗教とは初めてでした。しかし最初のリハーサルから全てが流れるように運び、そんな不安は吹き飛び、声明の音楽性に心打たれると同時に、僧侶の方々の人としての素晴らしさを感じました。言葉は通じなくても心がつながったのです。

仏教、キリスト教という宗教の壁を超えて、それぞれの精神性を持ちながらも一つになり、普遍的なものとなる。世界にも類を見ない特別な共演の場で、その空間に身を委ね、今まで体験したことのない『融合』を感じ取ってみてください。

入場無料

11/1日



アクロス福岡 オペラセミナー

- 🏠 円形ホール
- 🕒 19:00 ~ 20:30
- ※当日先着100名
- 👤 長野俊樹 (福岡教育大学音楽教育講座教授)
- ! ベッリーニ/「夢遊病の女」

11/2日



アクロス福岡フロア コンサートvol.447

- 🏠 コミュニケーションエリア
- 🕒 12:15 ~ 13:00
- 👤 マリンバ/若菜陽子
- 🎵 パーカッション/村岡慈子
- 🎵 村岡慈子:タンザニアの風
- 坂野嘉彦:里神楽 ほか

11/7日



ミュージック☆ファクトリー vol.77

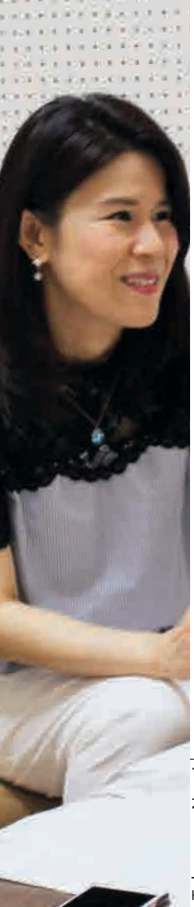
- 🏠 コミュニケーションエリア
- 🕒 14:00~14:30
- 👤 アンサンブル・ビュッシュ ほか
- 🎵 チャイコフスキー:バレエ音楽「くるみ割り人形」より

11/16日



アクロス福岡フロア コンサートvol.448

- 🏠 コミュニケーションエリア
- 🕒 12:15 ~ 13:00
- 👤 西日本オペラ協会
- ソプラノ/出口未来 テノール/久保田敦志
- バリトン/久世安俊 ピアノ/藤真希子
- 🎵 ブッチェーニ:「トスカ」より「星は光りぬ」
- モーツァルト:「ドン・ジョヴァンニ」より「手を取り合って」 ほか



Tokuyama Nami



Oboe

九響オーボエ奏者の徳山奈美さんとヴィオラ奏者の猿渡友美恵さんのお二人に、11月開催の「第363回定期演奏会」について、お話を聞きました。

Q: アジアのつながりを感じる事ができる演奏会になりそうですね!

徳山 奈美: そうですね、今回の指揮者李心草さんは、2006年9月のアジア・フレンドリー・コンサート以来11年ぶりの登場です。

猿渡 友美恵: 私が九響へ入団してわずか1カ月のころですね。ラフマニノフの交響曲第2番を演奏したのを覚えています。

徳山: 個人的には2010年の釜山市立交響楽団の演奏会へ九響楽団員数名でお手伝いに行った時の李心草さんの印象が強いです。とてもうまくオーケストラをまとめられていて、大変聡明な方でした。

猿渡: ピアノのベン・キムさんは、ミュンヘン国際コンクールで優勝した韓国系アメリカ人の方ですし、1曲目の作曲家も中国の方で今回の定期演奏会はアジアのつながりを感じますよね!

徳山: アジアにこんなに素晴らしい音楽家たちがいるんだから、今後もっとアジアでの結びつきを深めて盛り上がっていきたくですね。

猿渡: 「楓橋夜泊」は、九響初演です。ヨーロッパなど海外では、頻りに演奏されているようですが、日本では余り演奏されたことのない作品です。李心草さんがどのような曲作りをされるのか、今からとても楽しみです。

徳山: 私も初めて演奏するので、曲を聴いて勉強しましたが、中国情緒にあふれた曲想でありながら、フランス印象派の影響を受けている作品だと感じました。新たな曲との出会いは、演奏家としてワクワクします!

猿渡: そうですね。それに、アジアの方が作曲した作品と出合う機会もかなり少ないので、期待が膨らみます!

九響音楽プレク #32

オーボエ奏者 徳山 奈美

ヴィオラ奏者 猿渡 友美恵

Q: 今回のラヴェルとシベリウスの作品は、スタンダードなクラシック音楽ですね。

徳山: 最近の定期演奏会としては、珍しく「名曲」のカテゴリーに入るような作品なので、今回のプログラムは聴きやすい気がします。

猿渡: ラヴェルは、ピアノソロはもちろんですが、各楽器の使い方が大変効果的なので、オーケストレーションもすごく楽しめると思います。

徳山: オーボエ奏者的には、第2楽章のイングリッシュホルンのソロが聴きどころです! この楽章は、拍子は3/4拍子ですが、ピアノソロの左手が6/8拍子のように書かれているので、少し変則的。でもそのおかげで、音がたゆたう感じに聴こえて、本当に素敵なんです。ピアノとのかけ合いにぜひ注目下さい!!

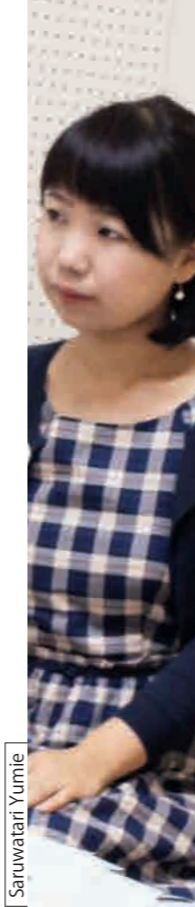
猿渡: 曲の冒頭でムチを使っているのも衝撃的です。弦楽器がピチカートで演奏を始めて、それと同時にムチがパン! って。とてもエキサイティングで、まるでサーカスみたい!

徳山: 管楽器も各パートが活躍してかっこいいですし、ラヴェルが「音の魔術師」といわれるのがよく分かる作品です。演奏していても楽しいですよ。

猿渡: シベリウスの交響曲第2番は、「シベ2」という略称で親しまれているほどポピュラーなので、この曲に関して皆さんそれぞれ思い入れをお持ちなのではないかと思います。

徳山: 九響が演奏するのも6年ぶりですので、そのころの演奏を聴いたことがあるお客様には、また新しいシベリウスをお聴かせできるのではないのでしょうか。

猿渡: 李心草さんが指揮をする今回のプログラムが、どのような演奏になるのか期待して下さいます!!



Saruwatari Yumie

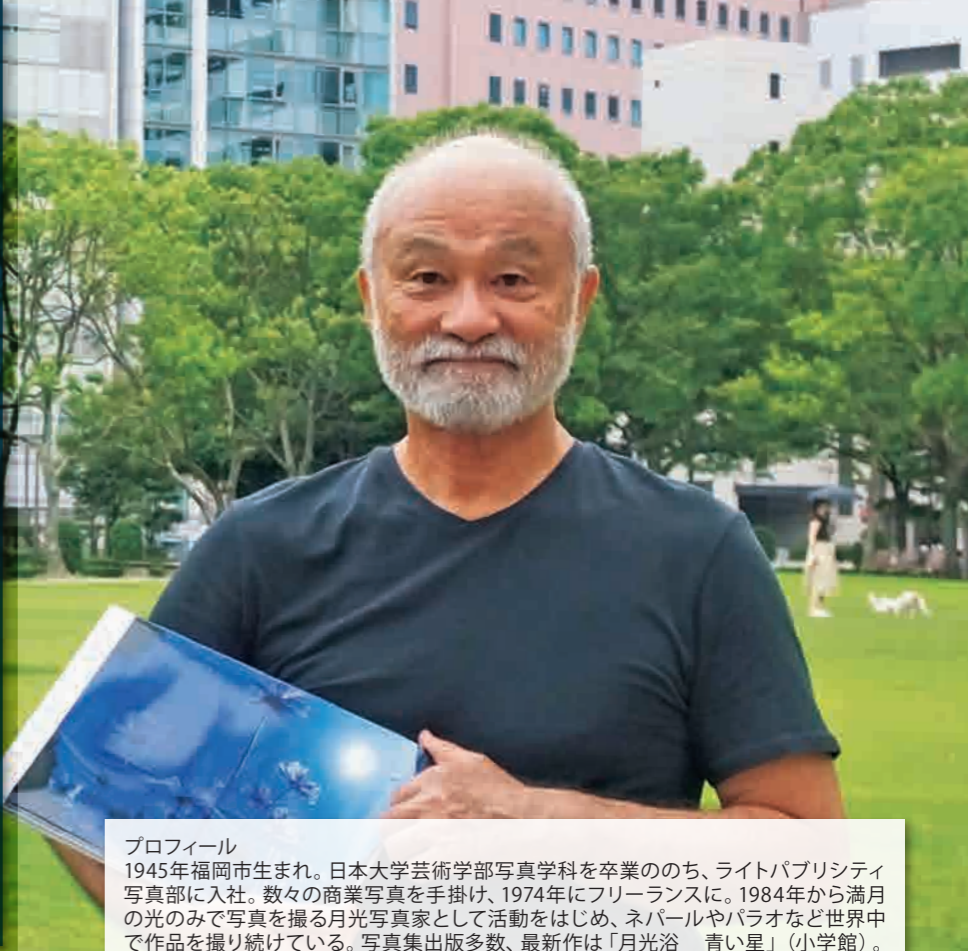


Viola



文化の魅力 #20 写真家 石川 賢治

Ishikawa Kenji



プロフィール 1945年福岡市生まれ。日本大学芸術学部写真学科を卒業ののち、ライトパブリシティ写真部に入社。数々の商業写真を手掛け、1974年にフリーランスに。1984年から満月の光のみで写真を撮る月光写真家として活動をはじめ、ネパールやパラオなど世界中で作品を撮り続けている。写真集出版多数、最新作は「月光浴 青い星」(小学館)。平成14年福岡県文化賞受賞。

大濠公園の近くで生まれ育ちましたが、大学進学時に上京してからは最近までずっと東京暮らしでした。私が若いころは高度成長期、刺激に満ちあふれていましたね。卒業後は五輪や万博のポスターなどを手掛けた日本初の広告会社「ライトパブリシティ」に入社し、篠山紀信さんたち先輩方とともに商業カメラの世界で飛び回っていました。30歳になったらフリーになりたいと思っていたので、その意思通り10年ほどでフリーランスカメラマンとなり、その後もテレビコマーシャル(CF)やスチールなどを多く手掛けてきました。そんなある時、航空会社のCF撮りのためにハワイ4島を巡る機会がありました。最初に訪れたカウアイ島で、深夜にまで及んだ撮影の後、寝る前に一人宿を出て海まで散歩しようと夜道を歩いていたときのことです。外灯も何もないのに、周りははっきりと見えるほど明るいことに感動をしてみました。その日は満月でした。月光を頼りに原っぱを歩き、真っ暗な林を抜けると、突然、満月に照らされた真つ白な砂浜が目の前に現れたのです。東京では考えられない月夜の明るさには驚いて夜の風景を見ていたら、鳥が目の前の海面スレスレを横切りました。その瞬間、ハッとしました。「もしかしてこの光景を、写真で撮れるのではないか」と。

当時はまだフィルムで撮影していた時代。月の弱い光では光量は足りず、撮影ができないことは常識でした。その後すぐサイパンを訪れる機会があり、遊び半分にはポラロイドでジンジャーの蕾を撮ってみることに。モノクロの影でも写っていたらと思っていたのに、白い蕾の先のピンク、木々のグリーン、ジャングルの影、濃紺の夜空が、太陽と同じ発色で写っていました。この時宇宙的衝撃を受けて、月光写真がライフワークとなって33年になります。パラオの海底からヒマラヤまで、世界中の原野を満月の光だけで撮影し続けてきました。原野に立つと影が地面にくっきりと映り、草花の色、景色、そして地平線から上に、銀河、宇宙が一つながりに見えます。昼間は雲や青い空というカーテンに閉ざされて宇宙の姿は見えませんが、夜になるとこの世界と宇宙が目の前でつながります。その感動を、作品にし続けてきました。昨年住み慣れた東京を離れ、糸島半島に移住したのですが、それも自然と満天の星空に近い場所だったから。月光写真を撮り続けて30余年が過ぎた今、次なるステージとしてマクロの世界と宇宙をつなぐ作品を創造していきたいと考えています。一本の花や小さな昆虫を通して、宇宙を感じる写真を撮りたいと、糸島の地で新たなチャレンジを始めています。

(文) 上田瑞穂

聴きに行こう! 九州交響楽団 第363回定期演奏会 アジアの星 リ・シンサオ 定期初登場 11/10 金 19:00開演 福岡シンフォニーホール 指揮/李心草(リ・シンサオ) ピアノ/ベン・キム

お知らせ

文化観光情報ひろば おすすめパンフレット vol. 2

今回は「みんなは知らないわたしの街のスタンダード」をテーマに、おすすめのパンフレットをご紹介します。代表的な観光スポットではないけれど「この街に来たときにはぜひ立ち寄って欲しい!」という思いがいっぱいつまった一冊です。ぜひ手にとってみてください!

■みやまのいいところ。



『みやまの旅』
(発行/みやま魅力発信協議会)

福岡県南部に位置するみやま市には、自然の恵みから生まれた“よそにはないもの”がたくさんあります。パンフレットでは、それらの情報が34ページにわたりに紹介されています。コガコーラ、玉めし、なで仏…などなど、さあ、パンフレット片手にみやまのいいところを探しに行きましょう!

■ながめても、歩いても、日々大刀洗。



『大刀洗ふらっとBOOK』
(発行/大刀洗町地域振興課)

大刀洗を愛する地元のみなさまが、地元目線で街の魅力を紹介する表情豊かな一冊です。気になるのは、しゅんたろうくんがコメントを寄せる歴史ある神社。そこにある小さな鳥居は、くぐると幸せが訪れるとか! 鉄道旅のオススメも紹介されているのでローカル線を楽しむのもいいですね。

■大切な人を想う時間…



『わたしのたびにつきじゃあにいー』
(発行/直方・鞍手広域連携プロジェクト推進会議)

突然決まった連休。知らない町へひとり旅にでてみるか…と思っているアナタ! ぜひ直鞍へどうぞ。このパンフでは直鞍に2泊3日のドライブ旅行へ行くとというスタイルで、街を盛り上げるヒトとモノを日記風に紹介しています。あっ、これチョックラではなくチョコアンといいます!



【パンフレットに関するお問い合わせ】
アクロス福岡文化観光情報ひろば tel.092-725-9100

※配架しているパンフレットの在庫には限りがございます。
在庫切れの場合はご了承ください。

※主催者の希望または作成日の関係等により本誌に掲載していないイベントもあります。また諸事情により掲載内容が変更になることがあります。ご了承ください。
※本誌記事・写真・レイアウトなどの無断転載、複製、引用を固くお断りします。

探検! アクロス福岡

福岡シンフォニーホールの特設ステンドグラス

約100年の時を経て
アートな空間を優しく彩る
旧庁舎の特設ステンドグラスたち



いつも見ている建物だけど、実は意外と知らないことだらけ。そんな「アクロス福岡」の、一歩踏み込んだ“秘密”をご紹介します「探検! アクロス福岡」。第20回目は、「福岡シンフォニーホールの特設ステンドグラス」です。

アクロス福岡の住所は「福岡市中央区天神1丁目1番地1号」。福岡県庁の跡地に建てられたことはこのシリーズの第1回目にご紹介しました。福岡県庁が天神に置かれたのは明治9年。その後明治の末から3年ほどかかって新築され、大正4年に旧庁舎が竣工したそうです。

さて、この大正時代の建物、いったいどんなデザインだったのでしょうか。資料によると、「3階煉瓦造り、白亜造りの…、九州にまれな最新式建築」「薔薇模様を表したステンドグラスは…:光線を通して見ゆる色彩はまことに見事」(福岡日日新聞)と報じられているようですが、実は当時の旧庁舎の保存物が、アクロス福岡の敷地内に残っています。今回ご紹介するのはその中でも特に目立つ、写真のステンドグラス。福岡シンフォニーホールのロビー

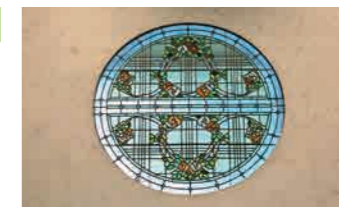
中央から真上を見上げたアングルにある天窓です。このステンドグラスの天窓は旧庁舎の階段室の天井にあつた古いステンドグラスと新作のステンドグラスの混成品で、作者はアトリエマツダのステンドグラス作家・松田日出雄さん。このステンドグラスを透過して注がれる柔らかな光は、複雑な断面を持つホワイトに映し出され、独特の雰囲気演出しています。ホール入口前に広がるアトリウムのデザインモチーフを踏襲しながらも、さらに音楽鑑賞という「非日常空間」へのプロローグとして、エントランス(エントランス)については下の段にてご紹介していきます)からこのロビーのステンドグラスにかけて、アートな空気を醸し出す役目が与えられています。当時新聞でも絶賛された薔薇模様のステンドグラスが、100年の時を経た今も訪れる人々を優しく照

(取材文 後藤暢子/写真 松本創)

まだまだあります、旧庁舎のステンドグラス

福岡シンフォニーホールには、ほかに旧庁舎のステンドグラスが使用されている場所があります。それは、ホールのエントランス正面にあるツインコラムの上部にある大理石の壁面にはめこまれています。旧庁舎のドア上部にあつた半円形のステンドグラス2枚を合わせた通称「バラ窓」です。訪れた際はチケットのもぎりで通りすぎてしまいがちですが、機会があれば一度立ち止まって見てみてください。

ちなみにこのツインコラムも旧庁舎のもの。天神中央公園にも残っていますが、こうして館内のオブジェにもなっているんですよ。



まるで最初から円形になるように作られていたかのような収まり具合の「バラ窓」。(写真左) ツインコラムとバラ窓が飾られている場所は、福岡シンフォニーホールのエントランス正面から入ってすぐの右手です。(写真右)



Cremona Musical Instruments

秋の管楽器

SUPER SALE!!

9月30日(土)~10月31日(火)

LIMITED TIME ONLY

AUTUMN Sale

音楽といつも素敵な関係でいたい

カモノ楽器

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目10-24
営業時間/10:00~19:00(日・祭日10:00~18:00)
定休日/水曜日 FAX 092-761-8382
☎092-713-5303(代)
e-mail cremona@mx21.tki.ne.jp
http://www.cremona-gakki.com